

ペットの災害対策

大事なペットを守るために、「日頃の備え」できていますか？



災害は突然起こります。いざというときに、ペットを守れるのは飼い主だけです。飼い主とペットがともに無事に災害を乗り越えるためには、日頃からの備えが欠かせません。



飼い主とペットの備えチェックリスト



日頃の準備

健康管理としつけ

- 予防接種やノミ・ダニ等の外部寄生虫の駆除
- キャリーバッグ、ケージに慣らす
- 決められた場所での排泄
- 人や他の動物に慣らす
- 「待て」「お座り」等のしつけ
- 不妊去勢手術の実施
- 猫の場合、室内飼養の徹底

ペットの避難用品の準備

《ペットの命や健康に関わるもの》

- フード、水(5~7日以上)
- 療法食、薬(5~7日以上)
- 予備の首輪、リード(伸びないもの)
- キャリーバッグ、ケージ、洗濯ネット(猫用)

《ペットの情報を記録したもの》

- 飼い主や緊急預け先の連絡先
- ワクチン接種状況、既往歴、健康状態、かかりつけの動物病院
- ペットの写真 ※「ペット防災手帳」を作成しておくとう便利です

《その他のペット用品》

- トイレ用品(ペットシート、猫砂、新聞紙等)、タオル、ブラシ、おもちゃ、餌用容器、毛布等の大きめな布 等

所有者明示と逸走の防止

- マイクロチップの装着、情報登録
- 鑑札、狂犬病予防注射済票の装着 ※犬は装着が義務
- 首輪や鎖等の点検、迷子札の装着

住まいの防災

- 住まいの耐震強度の確認
- 家具の固定、転倒・落下防止
- 飼育ケージの固定、転倒防止(屋外飼育の場合は外塀やガラス窓の近くを避ける)
- ペットの避難場所(隠れ場所)の確保(ケージ等)

同行避難できる避難所、避難経路の確認

- 避難所までの安全な避難経路の把握
- ハザードマップ等で危険な場所の把握
- 同行避難受け入れ条件等の確認
- ペット同行避難訓練への参加
- いざというときの一時預け先の確保(親族、友人 等)
- 個人の防災行動計画である「マイ・タイムライン」の作成

「同行避難」とは、災害時に飼い主がペットを連れて避難する避難所等まで避難することを指し、避難所等において飼い主がペットを同室で飼育管理する「同伴避難」とは異なりますのでご注意ください。

特定犬(①~③に該当する犬)や危険な動物(※)は同行避難できません。事前に預け先を検討しましょう。

- ① 秋田犬、紀州犬、土佐犬、ジャーマン・シェパード、ドーベルマン、グレート・デーン、セント・バーナード、アメリカン・スタッフォードシャー・テリア(アメリカン・ピット・ブル・テリア)
 - ② ①以外で体高60cm 以上かつ体長 70cm 以上の犬
 - ③ 県知事が指定した犬
- ※飼育しているペットが同行避難できない「危険な動物」かどうか、お住まいの市町村へ事前に確認してください。

災害発生時の対応

ペットとの同行避難

- 犬：リード装着(首輪のゆるみ確認)
- 猫・小型犬：キャリーバッグなどで運搬
- 避難用品を持って避難所等に避難

避難所における飼育管理

- 飼い主自身による飼育管理
- 咬傷事故等に注意
- 普段以上に周りの人へ配慮する

茨城県動物愛護ホームページはこちら
ペットに関する災害時の対応についてより詳しく掲載しています。

